

授業科目 (ナンバリング)	総合実習 (事前学習) (N4F415) (実践的教育科目)			担当教員	大磯 茂*・早川 正信*・室 高広*・神田 紘介*・ 大久保 伸哉*・末廣 真理恵*・中島 健輔*・ 出口 雄也・藤本 京子・川崎 達也・ 波多江 日成子・福森 良 (*実務経験のある教員)		
展開方法	実習	単位数	1 単位	開講年次・時期	4 年・後期	必修・選択	必修
授業のねらい							アクティブ ラーニング の類型
薬局および病院における実務実習において参加・体験型の実習を円滑に行うことができるように、調剤Ⅰ(事前学習)、調剤Ⅱ(事前学習)、生物薬剤(事前学習)および処方箋解析(事前学習)での学びを踏まえ、調剤、調剤薬鑑査、情報提供、服薬指導、無菌操作などに関する基本的技能、態度を総合的に修得することを目標とする。							①④⑩
	学生の授業における到達目標				評価手段・ 方法	評価 比率	
専門力	<ul style="list-style-type: none"> <li>処方せん受付から服薬指導までの一連の流れを理解し、実施事項および実施上の注意点を説明できる。</li> <li>処方せんに基づき、調剤をシミュレートできる。</li> <li>調剤薬の鑑査をシミュレートできる。</li> <li>無菌操作の原理を理解し、基本的な無菌操作を実施できる。</li> </ul>				随時試験(実技)	50%	
情報収集、 分析力	<ul style="list-style-type: none"> <li>薬学的管理に必要な情報を適切に収集し、分析できる。</li> </ul>				随時試験(実技)	30%	
コミュニケ ーション力	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者や医師・看護師等の医療従事者への薬の情報の適切な提供をシミュレートできる。</li> </ul>				随時試験(実技)	5%	
協働・課題解 決力							
多様性理解 力	<ul style="list-style-type: none"> <li>患者が多様であることを理解し、模擬患者に適切に接することができる。</li> <li>患者・利用者に配慮した適切な態度および行動ができる。</li> </ul>				随時試験(実技)  観察記録	5%  10%	
出 席					受験要件		
合 計					100%		
評価基準及び評価手段・方法の補足説明							
評価比率を100%とする実技随時試験を行う。評価比率の内訳は、各実習において、専門力5または10%(5×2+10×4=50%)、情報収集、分析力各5%(5×6=30%)とし、薬局および病棟での患者応対でコミュニケーション力各5%(5×2=10%)とする。							
授 業 の 概 要							
病院または薬局における薬剤師としての実務経験を有する教員が、調剤、調剤薬鑑査、無菌操作、情報提供、服薬指導などの実習を総合的に行う。実習開始前日までに実習書を配布する。実習当日、必要に応じてプリントを配布する。この授業の標準的な1コマあたりの授業外学修時間は、45分とする。							
教 科 書 ・ 参 考 書							
<p>教科書:実務実習事前学習テキストブック(京都廣川書店):教科書① グラフィックガイド薬剤師の技能 第2版 ー理論まると実践へー(京都廣川書店):教科書②</p> <p>参考書:調剤学総論改訂13版(南山堂)、調剤指針第十四改訂(薬事日報社) スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅰ 臨床薬学の基礎および処方箋に基づく調剤(東京化学同人):教科書① スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅱ 薬物療法の実践(東京化学同人):教科書② スタンダード薬学シリーズⅡ 7 臨床薬学Ⅲ チーム医療及び地域の保健・医療・福祉への参画(東京化学同人)</p> <p>指定図書:実務実習事前学習テキストブック(京都廣川書店) グラフィックガイド薬剤師の技能 第2版 ー理論まると実践へー(京都廣川書店)</p>							

授業外における学修及び学生に期待すること				
本実習は、実務実習に参加する前に学内で調剤、調剤薬鑑査、無菌操作、情報提供、服薬指導などに関する基本的技能、態度を学ぶことのできる最後の機会であることを認識すること。 実習書及び教科書を用いて次回の実習内容を予習するとともに、当日配布するプリントを利用して復習をすること。				
回	テーマ	授業の内容	予習・復習	到達目標番号*
1～6	総合実習	・計量調剤 (大磯・大久保・川崎)	教科書 p 124 ～133 および 実習書の予習	916, 925, 927
	総合実習	・計数・計量調剤 (中島・藤本)	教科書 p 124 ～133 および 実習書の予習	916, 925, 927
	総合実習	・調剤鑑査 ・持参薬確認 (室)	教科書 p 161 ～164 および 実習書の予習	917, 918, 919, 932
	総合実習	・薬局での患者応対・薬剤交付 ・来局者応対 ・一般用医薬品の情報提供 ・在宅での薬学的管理 (早川・福森)	教科書 p 165 ～181 および 実習書の予習	944, 946, 947, 949, 1050, 1051
	総合実習	・病棟での初回面談 ・病棟での服薬指導 ・疑義照会 ・医療従事者への情報提供 (神田・出口)	教科書 p 165 ～181 および 実習書の予習	944, 946, 947, 949, 987, 1013, 1014
	総合実習	・無菌操作 (末廣・波多江)	教科書 p 148 ～160, P213～ 222 および実 習書の予習	930, 976
7	随時試験	・実技試験		

注) 上記の第1回～第7回は、授業の概要を示したもので、講義の順番は変更される場合があります。

\*到達目標番号と到達目標の対応は、大学 HP 掲載のコアカリ SBO 番号/項目対応表を参照して下さい。

実習サポート助手：福成 温